

市民福祉委員会会議録

1. 開催年月日

平成30年9月12日 開会 9時50分 閉会 11時55分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

柳井一徳 柳原英子 惣台己吉 三宅文雄
簀戸利昭 森本典夫

4. 欠席委員名

藤原浩司

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 事務局職員 事務局長 川田純士 事務局次長 藤原靖和
主任 吉原茂充

6. 傍聴者

報道 2名 (山陽新聞、中国新聞)

7. 発言の概要

委員長(柳井一徳君) 少し早い時間なんですけど、皆さんおそろいなので、ただいまから市民福祉委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

委員長(柳井一徳君) 本日の議題は、1、市民の声を聴く会の意見交換で出た意見の対応についてから3、その他でございます。

〈市民の声を聴く会の意見交換で出た意見の対応について〉

まず最初に、1で市民の声を聴く会の意見交換で出た意見の対応についてを議題といたします。市民福祉委員会の所管する意見について、A市の執行機関へ報告するもの、B委員会として協議していくものに振り分けを行います。

まず、振り分け方法についてご協議ください。

何かいい案がございますでしょうか。

例えば、この膨大な数なんですけれど、1件ずつを検討するかそれとも地区別であればあっと見て行って振り分けをしていくかっていうこと、そういったことを考えられますが。

委員（柳原英子君） 振り分けていくのもいいと思うんですけど、私たちがここでこんなふうにしたらいんじゃないのとかというようなものがあればそれもつけてそれを担当課に送るといいのではないかと思うんです。全部このままこうでしたよというて投げても職員の人をそれを一々こうしてもどうすりゃええんていうのまた戻ってこにゃいけんよなるんじゃないかって、ここでこうやってせっかく集まってるときにこここうなかったらこれにしとったらよかったんじゃないんかっていうのを声を聞いたねってみたいなのをまとめて送ってあげるといいのかなと思いました。ちょっと違いますか、言ようることが。

委員長（柳井一徳君） 大体わかります。

まず最初に、AとBに振り分けるというところからスタートをしたいと思います。その後、今柳原委員が言われたように、執行部に提案するときこういうこともありますよ、こういう事柄もありますよということを添付するという意味合いですよ。

委員（柳原英子君） そうです。

委員（森本典夫君） 地区別にやっていくの当然ですが、執行部へ報告するのと委員会で協議するのということになっとなる。全体的に見て委員会で協議するのが割と少ないんじゃないかなというふうに思うんで、そういう意味では地区別の中でこれとこれとこれは委員会で協議をするというふうな形にして、今柳原委員が言われたように委員会で協議したやつでもこういうことはどうかなというのでその第二弾として執行部のほうへこういうことはどうでしょうかというようなことになるのがあればそういうふうにしていったらどうかなと。ですから、まずは地区別に委員会で協議をするのがどれどれになるかというふうなこと、それ以外は執行部へ報告するという形でまとめていったらどうかなというふうに僕は思います。

委員（惣台己吉君） 今の森本委員の再確認ですが、AとBに振り分けるわけですがこれはAもBも執行部には全部、執行部の目を通すということですよ。去年と同じということですよ。

委員長（柳井一徳君） ですよ、はい。

委員（惣台己吉君） それで、Aはこういうことで今おっしゃられたようなことをすんで

すけど、Bはそれを各委員会で所管事務調査するとか各個人の一般質問に生かすという、去年と変わらないということですね。

委員長（柳井一徳君） そういうことですね。

委員（惣台己吉君） 承知しました。

委員長（柳井一徳君） ご意見いろいろ出ました。森本委員がおっしゃられるのは、当然ではないかなというふうに思います。前もって事務局から市民福祉委員会に関することだけを抜粋した表をいただいていたと思います。皆さんお目を通していただいてA、Bに振り分けていただいていると思うんですが、Bのほうが本当に少なかったというのが実態であろうと思いますのでBを取り上げていくほうが時間的にも速いのかなというふうに思うわけですが、その参考資料としましてきょうお手元に一覧表を事務局のほうで作成してくださっております。取り上げるべく各地区で大きく項目が重なっている部分がこういうふうな状態でありました。これをもとにやっていけばスムーズにいかないかなというふうに思うわけですが、森本委員のご意見がこれに付随したようなことだと思しますので、いかがでしょうか。

委員（惣台己吉君） 1点お尋ねしたいんですが、ハザードマップとか防災マップの点検が結構ありますがこれは現在市はしてると思うんです。各県、よそなんかも。それで、これを執行部に言うというたら何を言うことですかね。僕はぱっと見たらほとんどB、僕が去年と同じような見解でいくとほとんどBじゃったんです。そういう意味でその内容をお聞かせ、というのが防災マップとか、そしたら今度次の定例会なんかは今どういうふうに進捗になってますかというのがそういう一般質問する材料になる。いろんなたくさんの意見がありますんで。ですから、Aがほとんどじゃ言われたその見解をお聞かせいただきたい。

委員長（柳井一徳君） ほかに他の皆さんのご意見はいかがでしたでしょうか、今惣台委員の投げかけ、問いかけに関して。惣台委員は、Bのほうが多かったということで、委員会それから個人で研究をしていくほうがいいんじゃないかということですよ。ですよ。

委員（惣台己吉君） 昨年もそうですけど、市民の声を聴く会でも皆さんからお聞きした意見は執行部に上げるものとこれから調査研究したり提案したりそれと個々の一般質問に反映させていきますというので市民の声を、その去年と同じ比較でいくとBが多かったと。そういうことです。

委員長（柳井一徳君） ほかにの方はどうだったですかね、AとBにご自分で振り分けをされたときの感覚で。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 防災マップに関して先ほど惣台委員のほうから……。

委員（惣台己吉君） 例として。

委員長（柳井一徳君） 例として挙げられましたけど、防災マップも恐らく今回のことで各地区から見直すべきだという声、結構この中にも出ておりました。そういうことを伝えていかなければならない、改善していく、改訂していく必要があると思いますので、これはAへ取り上げていってもいいのかなと。それから、これはまた今惣台委員がおっしゃられたように個人で研究をしてそれで一般質問等々で市のほうに提案なり追求なりしていくということはいいのではないかなと、委員会としてはそこまで取り上げる必要はないのかなあという、私のAが多かったということはそういうことでAにしたわけですけれども。ほかの皆さんが、そういうことで、例えばじゃあ防災マップでこれをAがいいのかBがいいのかについて1つ協議をしたいと思うんですが。

委員（惣台己吉君） 今ここ市民福祉でいってるわけですが、3つの常任委員会はこれはA、Bの振り分けというのは共有していかないといけないと思うんです。一応広聴広報委員会では去年に準じたということで私は理解しとんですけど、だからただ単にそれで市民福祉は市民福祉の考えでいってもいいのか共通した3常任委員会が共通したそのAとBの認識で進めていったほうがいいのかなということ、質問したい。

委員長（柳井一徳君） 今惣台委員からの提案がございましたけど、それについて皆さんどのようなお考えございますか。

委員（簀戸利昭君） 惣台委員の言われることもわかるんですが、今ここに小分類としてお知らせくんであるとか啓発であるとか避難所、防災マップ、訓練というような形でいろいろと各地区ごとの小分けがしてくださってます。基本的には執行部に伝えることが多いのかなと私は個人的には思います。それで、その中の例えばですけどお知らせくんの運用であるとかそういうことを委員会で検討するとか、または防災マップは基本的には執行部側の調査研究に値するのかなと思いますのでそこらあたりの訓練をどうしていくかというようなことであったり、いろんなこと、考え方で市民福祉員会として何を取り上げて所管事務にしていくなかという方向性のほうが簡単ではないかなと私は思います。

以上です。

委員長（柳井一徳君） 今簀戸委員からそういったご意見がありました。

委員（三宅文雄君） 私は簀戸委員と大体同じ考えなんですけれども、それぞれこの番号を振ってあるように1番から12番まで井原地区についてあるわけなんですけれども、項目ごとに分類はそれぞれされてますけれどもそれぞれその内容が違うので市民福祉委員会としてその内容についてA、Bの振り分けするべきであろうというふうに思います。

委員長（柳井一徳君） 一個一個チェックしていくということですか。

委員（三宅文雄君） そうです。

委員（柳原英子君） 重複してあるから。

委員長（柳井一徳君） 例えば、補助金など芳井で1つしかなかったようなテーマもあるわけですけど、これもAかBかを決めていくということで。この莫大な数あるんですけど、これ全部1つずついきます。

委員（三宅文雄君） それは、そういかなくてはいけないんじゃないんですかねと私は思いますけど。

委員長（柳井一徳君） 今三宅委員からのご意見がありました。

委員（柳原英子君） 今までの皆さんの意見とはまた物すごくかけ離れていけないかなとも思うんですけど、素朴に思うのに例えば防災マップとかってするじゃないですか。そしてたら、井原の5番の防災計画の見直し、防災マップに矛盾があるって書いてあるんですけど、どこが矛盾なのかわからないですよ、こういうのだけ見ただけでは何が矛盾だったのか。だったら、そういうところ辺までは、何かどこかでちゃんと聞いているのか矛盾があるだけを聞かれたのかわかりませんが、どこが矛盾だったのかそういうのがわからないとこれ市役所の人がもらってどこが矛盾なんじゃろうっていう感じにはなるかなとは思いますが、だから、もしこの防災マップ一つ何かで、ここででも何かちょっと考えていこうかなというんだったらこの中のそういうところの本当の問題、私たちもこれは市民のためにやるべきこととして市民福祉委員会で振り分けをしましょうってせっかく聞いた意見だからってやってるわけなので、そういう中身のそこに近づくような話し合いとかそういう選び方とかをしていくといいのかなって思うんですけど。皆さんとそういう離れてとんちんかんなこと言ってるかもしれないんですけど、私は純粹に何かそう思いました、今。

委員長（柳井一徳君） この一つ一つの出された意見の中身を精査していくということをおっしゃられておりますけどそれをしていくと莫大な時間を要するんですが、ただ先ほども簗戸委員がおっしゃられましたようにこの項目の多いところでは共通の問題ですので、その中で例えば防災マップも今矛盾があるというのも含めて見ていくことはできるのではないかなというふうに思います。そうするほうがよりいいのができないのかなと、三宅委員がおっしゃられるのが一番いいわけですが、1項目ずつを見ていくということで、いかがいたしましょうか。皆さん方のご意見がそれぞれ4名のご意見かな、森本委員は最初おっしゃられたようなご意見でよろしいんでしょうか。

委員（森本典夫君） はい。

議会事務局長（川田純士君） 済みません。もう一回確認だけさせていただきたいんですが、さっき惣台委員から質問があった関連でAとBの分け方でAというのが市のほうへ伝える、Bが委員会では何らかの形で検討する、調査研究するということなんですけども、AもBも執行部のほうに通知はするんですけども、Aというのはあくまでも通知を市民からの意見

がこういうのがありましたということでそれを参考にして今後の施策を考えてくださいということであって、この意見に対して執行部が議会に伝えるとか市民に伝えるということではない、その辺だけのご理解をしていただきたいと思います。ですから、本格的に検討せにゃいけないのは、Bということになると思います。

委員（柳原英子君）　　ここで。

議会事務局長（川田純士君）　　委員会で。

委員（柳原英子君）　　委員会で。わかりました。

委員長（柳井一徳君）　　では、まとまりがつかない、それぞれの皆さんのご意見がありまして、今局長が言っていただきましたようにBについての案を取り上げていくということでこの参考資料をもとにさせていただきたいと思います、時間の都合もありますので。

まず、1 ページ目の中でこの各地区に共通したテーマ、意見がありますのがお知らせくん、避難所、防災マップといったところは各地区全域にあるわけですが、この小分類がこの中にあればこれをBにするかAにするかということで協議をしていきたいと思いますがいかがでしょうか。そういう進め方でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君）　　そういった形で進めさせていただきたいと思います。

まず、井原町地区1 ページ目1 2 番までの番号の中で、防災マップに関しては5 番がまずございます。お知らせくんが、2 番がございます。それから、避難所に関しては、8 番がございます。そういったところが多い意見の一つではございますが、これについて例えば2 番のお知らせくんの使い方に疑問を感じると、これに関して委員会で調査研究をしたほうがいいのかそれとも素直にこのままのご意見を執行部に伝えるのかということですがどちらがいいでしょうか。これは総務文教委員会も関連をしてくるということで、総務文教委員会のほうにも丸印がついておりますが。

委員（柳原英子君）　　済みません。お聞きしたいんですけど、お知らせくんをAにするかBにするかということ聞かれてるんですかね。ですよね。

委員長（柳井一徳君）　　はい。

委員（柳原英子君）　　お知らせくんはAでいいと思うんですけど。

委員長（柳井一徳君）　　Aで。前もって見ていただいた中では、皆さんどういうふうにしていただいていたんですかね。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） この2番に関してはAということで行きます。

それから、5番の防災マップに矛盾があるというところ、これに関してはいかがでしょうか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 1つずつ私が読んでいきますのでA、Bを言っていただくようにしましょうか。1からずっと読んでいきますので、A、Bどちらかというのを言っていただいてどんどん進めていきたいと思えます。

委員（三宅文雄君） 委員長、ちょっと。

委員長（柳井一徳君） はい。

委員（三宅文雄君） 先ほど冒頭に森本委員が言われたように、BならBを井原なら井原で皆さん見られてBであったのはどれであったかということを書いて、この委員会で協議すればええんじゃないんですかね、大変だと思いますから。

委員長（柳井一徳君） 三宅委員はそれのほうがよろしいですか。

委員（三宅文雄君） はいはい。

委員長（柳井一徳君） 先ほど1項目ずつおっしゃられたんですが、では最初の森本委員の……。

委員（三宅文雄君） ちょっと待って。

委員長（柳井一徳君） はい。

委員（三宅文雄君） 1項目ごとにやるんですけども、事前に皆様方にこの項目についてチェックしていただくわけじゃからその段階で私はこれはBがふさわしいと思えますというのが皆さんお考えをお持ちだと思うので、井原についてはこれがBじゃないですか言われたら皆さん協議してBということで行けばええんじゃないんでしょうか。全体を1項目ずつやるのではなくして。

委員長（柳井一徳君） わかりました。済みません。私の不手際で皆さんにご迷惑をおかけしました。

ではまず、1ページ目、井原の1から12番までの番号でBのご意見がございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 9番。

委員長（柳井一徳君） 9番、事前に自動車を避難させたいが、井原高校を使わせてほしい。これを今森本委員さんのほうからBというご意見が出ました。これを市民福祉委員会で

調査研究をしていくべきかどうか、いかがでしょうか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） Bでとりあえず、これはBということで。

ほかはAでよろしいでしょうか。

委員（簀戸利昭君） 一応お知らせくんの使い方についてはAになったんですが、基本的にはお知らせくんの運用方法であるとかこれは総務文教にも関係あるかもしれませんが、避難勧告、避難指示、避難準備情報から避難勧告、避難指示までの運用はされとるわけですがなかなか市民の方がわかりづらいというご意見がありますので、できればお知らせくんの運用とか使い方を研究したらこの委員会で検討してみたらいいのかなと私は個人的には思います。

以上です。

委員長（柳井一徳君） 今お知らせくん、Bというご意見ございました。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、お知らせくん、Bという。

では、1 ページ目は。

委員（三宅文雄君） 8番の井原小学校が避難場所なのはおかしいいうのも私はBでもいいんじゃないかと思うんですが。

委員長（柳井一徳君） それに付随したのが6番、7番の避難所という一つのくくりで見るとかそれとも個別で井原小学校だけを見てやっていくのがいいのかというところもあると思うんですがいかがでしょうか。

委員（柳原英子君） 避難所のところは、全部を見ていくほうがいいのではないかと思います。

委員長（柳井一徳君） では、6番の避難所開設の際にというところから8番まではBということでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということにさせていただきます。

では、2ページ目に入りたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員（惣台己吉君） もう一遍、1がAとか2がBとか言っていただけますか。

委員長（柳井一徳君） 以外をAとさせていただきたいと思いますので、Bだけを取りあえず言います。2番それから6番、7番、8番、9番、この5つがBということで、それ以外をAに振り分けさせていただきます。

次、2ページ目、大江地区1番から16番まででございます。この中でBのご意見がありますでしょうか。先ほどの避難所というところからいきますと、3番それから6番それから7番、8番も避難所のことだと思えます。それから、9番、10番、12番、13番、14番、15番、16番もですかね。こういったところですかね。いかがでしょうか。避難所として見れば、それ以外にも。これ全部避難所ですかね。トイレが。

委員（柳原英子君） そうそう、全部そうなんだけど、そうそうそう。

委員長（柳井一徳君） ベッドがないとか。

委員（柳原英子君） 障害者の人が避難所……。

委員長（柳井一徳君） 全部避難所として。

委員（柳原英子君） ですね。

委員長（柳井一徳君） 見ていっていいですね、テーマの小分類も全部避難所管理になっておりますので。

では、このページは全てBということによろしいでしょうか。

委員（森本典夫君） 15番。

委員長（柳井一徳君） 15番。

委員（森本典夫君） 34番。

委員（惣台己吉君） Aです。

委員（森本典夫君） Bです。

委員長（柳井一徳君） Bを今言っていたいております。

次のページの34番。

委員（惣台己吉君） 34番。

委員（森本典夫君） 41番。

委員長（柳井一徳君） 41番。大江地区ということで41番。

委員（森本典夫君） 大江はここだけですね、僕は。

委員長（柳井一徳君） ほかにご意見ございますか。

Bをつけられた方がほかにおられますか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君）　今の森本委員の15番それから大江34番それから41番、この3つをBとします。

議会事務局長（川田純士君）　それをお諮りせにゃいけんです。

委員長（柳井一徳君）　Bとしたいと思います。

議会事務局長（川田純士君）　一つ一ついかれたほうがええじゃないかと思ひます。番号ごとに。

委員長（柳井一徳君）　番号ごとに。

　ほいじゃあ、いきましよう、1つずつ。

　ほいでは、15番のコミュニティー、公民館で避難所として機能し得るものがあるのか調査する必要がある。これをBというご意見ございました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君）　これはBということで決定させていただきます。

　よろしいですね。

　では、34番、みなし仮設住宅などの整理をしてはどうかというご意見が出ました。

　Aのご意見の方ございますか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君）　Bということで決定させていただきます。

　次のページ、41番、カメラの設置をふやしてほしい。これはBというご意見でございました。

委員（森本典夫君）　カメラというんがようわからんのじゃけど。

委員長（柳井一徳君）　防犯カメラ。

委員（森本典夫君）　防犯カメラのことじゃろうとは思ってるんですが。

委員長（柳井一徳君）　はい。

議会事務局長（川田純士君）　防犯カメラ。

委員（柳原英子君）　これ井原放送のカメラじゃないのかな。

委員（惣台己吉君）　これは井原放送の。

委員長（柳井一徳君）　41番、井原放送のカメラですが、Bということで決定をしたいと思ひます。

次、木之子に関しましてございますか。木之子、3ページ、1、2、3ページでございます。

委員（簀戸利昭君） 私は、井原でも言いましたけど、情報伝達、お知らせくんのことについてが12番から……。

委員長（柳井一徳君） 12番。

委員（簀戸利昭君） 25番まで井原放送を含めてあるので、そこらを検討したらいいと思いますのでBにさせていただけたらと思います。

委員長（柳井一徳君） お知らせくんも含んで情報の伝達という項目で12番から25番までをBというご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） この情報の伝達とお知らせくんということで12番から25番まではBということに決しさせていただきます。

ほかはございませんか。

委員（柳原英子君） 今よくわからないですけど、この自主防災組織とかというの木之子の人とかは結構、大江も最近それが大事だなというて自治会長さんや防災士さんが勉強会を始めようとかというてやられてるんですけど、そういうのってこの委員会で何かをするということはない、それをBにというたらそれを考えてみましょうということになるんですか。そういうことですか。

委員長（柳井一徳君） はい。

委員（柳原英子君） じゃあ、私は、自主防災組織っていう意見が出たところも少しは考えてみる必要があるかなと思うんで、Bで、木之子だけが。

委員長（柳井一徳君） 具体的に何番で。

委員（柳原英子君） 木之子だけがというようになるんですけど、木之子だったら41番とか。

委員長（柳井一徳君） 41番。

委員（柳原英子君） それから47番とか。

委員長（柳井一徳君） 47番。

委員（柳原英子君） と思います。

委員長（柳井一徳君） 今41番の小さな地域から防災組織づくりを。近隣住民の確認方法の徹底というところと47番、これはそうだにって読むんですかね。

委員（森本典夫君） そうたに。

委員長（柳井一徳君） 惣谷自主防災会組織はあるが、木之子地区全体の組織があるのか。連携が必要とこの2項目をBというご意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。

委員（三宅文雄君） 42番なんかもそういう。

委員長（柳井一徳君） 自主防災。

委員（三宅文雄君） 44番なんかもそういうようなことも書いてある。組織づくり、ずっと、だから41番から47番までそうなんじゃないんですか。

委員長（柳井一徳君） 組織づくりという分類でなっておるところ。今三宅委員のほうから41番から47番まで組織づくりというところで自主防災組織に関連するというところでBのご意見が出ました。柳原委員、三宅委員のBにご意見ございますか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 41番から47番までもBということで決定させていただきます。

3ページ目はございませんか。

53番のボランティアや寄附金等発信という言葉があるんですが、情報の伝達とかそこにはこれは別によろしいですか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 木之子を終了して、次荏原地区に参りたいと思います。

議会事務局主任（吉原茂充君） 申しわけありません。木之子地区でただいま自主防災組織の関係のお話がありました。少し戻ってしまうんですが、大江地区の中でも大江の29番のあたり自主防災組織というような文言が出てまいります。そのあたり、さかのぼってはしまうんですが、ご協議をいただければと思います。よろしく申し上げます。

委員長（柳井一徳君） 今事務局からさかのぼって自主防災組織も見直すべきではというご意見がありました。いかがでしょうか。

委員（簀戸利昭君） 私は、今回災害があって初めてわかったことなんですが、自主防災組織は行政で強要するものではないと考えます。それで、あくまでも地区の方とのお話をしていただいて、大雨のときにはこうですよ、台風のときにはこうですよ、地震のときはまだあったことがないんでわかりませんが、そういう話は基本的には自主防災組織で行うべきであって行政というか議会として取り上げるのはいかがなもんかなと私は個人的には考えます。以上です。

委員長（柳井一徳君） 今箕戸委員からあくまでも自主ということ、地域で考えるべきではないかというご意見がございました。議会それから執行部が考えるべきではない、そこまでの強いあれじゃないと思うんですが、自主ということです。

委員（箕戸利昭君） 追加になりますけども、要は補助金であるとかなんとかになればそれは行政が絡んでくるわけですが、その組織の中で運営がどうかこうとかという話になると基本的には自主防災組織の考え方であったりその地域であったり小単位の集落であったりというようなことになりましょから、なかなか補助金については確かに行政の考え方をもっと充実したらいいんじゃないのというお話にはなるかもしれませんが、あそこがいけん、ここがいけん、あれが足りないというようなことについては基本的には自主防災組織でお考えになられたほうがいいのかと私は思います。

委員（柳原英子君） 市民の方から聞くのに自治会がやれえという、やらにゃいけんのはわかるん、何かはしたいんだけど何をしたらいいかわからないとか、どこからそういうものが来るのかとか、そういうものが見えてない中で、みんなあの期間1週間ぐらいの間、何かせにゃいけんじゃけど何もできんというのを見てきたんですよ。そうしたときに、どこからか自主防災でそういう組織つくってるはずだったんです。でも、大江も形だけでした。名前の一応こういう図があってこの人がこれをしてってみたい形だけで、じゃあ何をするかというたら防災士さんしかそのやり方を知らない状態だったので、そういうことはそれが補助金がつこうがつくまいが、私はそういうことはわかりませんが、市民の問題だったらそれが議会ですることではないとか執行部がすることじゃないかとかというのではなくて、一応みんなそれが問題だったんだよっていうのを何か話し合っとくのが大事なとかなって思います。全員協議会出たときもそういう話が出るかなと思ったら全然そういうのも出てなかったんで、そういう市民の声はどこで私たちがみんなで認識したりするのかと思だったので、きょうこの防災のこういうことが話し合われるんだったら私はそういうときかなと思だったので、自主防災組織についてはこういうふうに市民の方が右往左往してるような状態だったので、せっかく、あのときはみんな外に出られないし家にいることが多い時間だったので、あのときはね、何かちょっとしたげようと思えばできたりするんですけどどうしたらいいかわからない、何か手だてがないという中だったので、そういうことを議会としてもせっかく市民の声を聴く会をして声を聞いているんだから、そういうことを話し合いましたっていうのは大事なことはないかなというのが素朴な私の思いで、公民館へ行ってもあんならの話は、委員会が何をしましたという報告は要らなくて言われるんです。これちょっと話はそれですけど、報告は要らなくて。じゃけど、私たちがこうやって出した問題について何をしたかを話し、それを見たいって言われるから、だったらそういうの聞いたときに議会でもこのように話し合ってみましたっていうのは大事なとかなと思だったので、Bではないか

など思うんです。

委員長（柳井一徳君） これは非常に難しいことだと思います。簗戸委員もおっしゃられるように補助金とかそういうことになればこれは公助ということにつながってくると思いますが、市長常々言われておったような自助、共助ということを考えれば自主防災組織を自分たちで考えるべきではないかというところにつながるのではないかと思います、どういたしましょう。お諮りいたします。

簗戸委員がおっしゃられるようにあくまでも各地域にお任せをするべきであるというご意見、それから柳原委員がおっしゃられるように議会としてもこれは勉強をしておくことだとは思いますが。そして、地域の方に我々が発信をしていくというふうなことを言われるんだと思います。

委員（惣台己吉君） 大江も、私芳井なんですけど、この2つの地域、大江の場合は自助、共助、近所ということでパンフレットつくっとられまして、2分の1、最高50万円までの、芳井も同じようにされてます。これに関しては、ほとんど地震、チェーンソーとか消火器をしとったんで、だから今度は水害ということをしたときに、公民館に1つ置くのか、各小さい地区にも3日分ぐらいの水とかあれを置くのかということなんかは検討してくれえと、ほんでそういうことは議員の中でも協議をしてくれえと、他の地区がどがあなんかということで、芳井も同じようにされてました。チェーンソーとか消火器は買うとんじゃけど備蓄は考えてなかったんで、芳井ははっきり小公民館もすると。ただし、その地区別にした場合に防災士の件もある、自主防災は防災士の件もあるんですが、特に2年間で自治会長がかわられるところもあれば1年間でかわられるところもあるんで、4月でこのたび7月にあつて、そんならその公民館とか民生委員とかそういうことの防災協議はしてないと言われるからそういうことも協議をしてくださいということでのご意見だったと思います、大江の場合は。

ほんで、もう一つ大きなあれが、障害者の方とか高齢者の方、これは今管理は全地区どういようにされとんなどということも聞かれて、これは公民館で鍵をかけて、個人情報漏れてはいけないんで鍵をするということを決まっておりますと言うたら、これが大きな問題じゃと。ただし、芳井の場合は、障害者の情報、公民館長が速やかにされて、障害者の方は2階へエレベーターで生涯学習かな、あそこへ上がっていただいて畳の間があるからそこへ高齢者の方と障害者の方の安否も確認しましたということで。だから、そういうことは、今柳原委員が言われたように検討するとかそういうことがあるからということは調査したりとか執行部に聞いてそれを全13地区に問題提起というんかお願いとかということはもちろんしてる思うんですけど。

以上です。

委員長（柳井一徳君） 今惣台委員からも柳原委員のご意見に賛成のご意見がありました。

では、一応この委員会では自主防災組織を取り上げるということで共通とさせていただきたいと思います。

〈異議なし〉

議会事務局長（川田純土君） 確認で大江のほうもBでいいんですね。

委員長（柳井一徳君） 今ありましたように、大江へ戻りますけれども自主防災組織というところの項目が29番から32番までございます。これをBということよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、これをBということ決定させていただきます。

それでは、木之子は、3ページ目は別によろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） 最後の53番から65番までの中ではよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、次に荏原にまいりたいと思います。1ページごと、これページ数が多いので1ページごといきます。

1番から17番で、先ほどから続いております自主防災組織も含めて避難所、そういったことでのBが多いんですが、ほかにご意見でBがありましたでしょうか。

委員（森本典夫君） 8番と11番。

委員長（柳井一徳君） 8番と11番。8番の荏原小学校体育館にマットが不足のことでした。今後どうなりますかという意見とそれから11番、小学校と体育館を2階部分でつなげることはできないかというご意見がBではないかということです。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） このBという森本委員の案についてお諮りいたします。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） この2つをBとさせていただきます。

次のページで18番から60番まで、この中でBに関連するものがございますでしょうか。

委員（簀戸利昭君） 同じく22番から27番まで。

委員長（柳井一徳君） 22番から27番まで。

お知らせくんの分類でございます。

22番から27番までBというご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定させていただきます。

このページはこれでよろしいでしょうか。

委員（森本典夫君） 52番。

委員長（柳井一徳君） 52番。スマホ等を利用しない家庭への情報提供方法を考えても
raitaitaiということ、これも情報伝達ということ、Bというご意見です。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） Bとさせていただきます。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） では、このページは以上の項目をBとさせていただきます。

次のページが61番から80番まで、この中でBの分類をされたところございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 済みません。59番言い忘れておりましたので。

委員長（柳井一徳君） 59番。

委員（森本典夫君） 体育館にテレビがなかった。

委員長（柳井一徳君） テレビがなかった。これもBというご意見がございました。情報提供ということですが、Bでよろしいですか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、これもBということで決定させていただきます。

次の61番から80番まででいかがでしょうか。

委員（森本典夫君） 67番。

委員長（柳井一徳君） 67番。

委員（森本典夫君） 69番。

委員長（柳井一徳君） 69番。

委員（森本典夫君） 74番。

委員長（柳井一徳君） 74番。

67番、69番、74番、自主防災組織に関連したことであろうと思います。69番はおひとり暮らしの方の移動、障害者の方の移動ということの福祉にも関係があると思うんですが、これがBというご意見です。

委員（柳原英子君） 66番はいかがですか。

委員長（柳井一徳君） 六十……。

委員（柳原英子君） 66番。

委員長（柳井一徳君） 66番。66番も高齢者ということの自主防災組織から連絡がなかったという、指示がなかったという。この4つの項目がBということ、ご意見がございました。

委員（三宅文雄君） 済みません。63番から。

委員長（柳井一徳君） 63番から。

委員（三宅文雄君） ずっと下が組織図のあたりまでが自主防災組織の関連に入るんじゃないかと思うんですが。

委員長（柳井一徳君） 72番の組織図のところまで、63番からですかね、右の小分類のところ自主防災組織ということで74番まで大きくくりをさせていただいておりますが、三宅委員のご意見も踏まえてそこまでをBとすることでいかがでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、自主防災組織ということで、63番から74番まではBと

させていただきます。

では、次のページで81番から106番まで、この中でBに該当するところがございますか。

委員（森本典夫君） 89。

委員長（柳井一徳君） 89番。

委員（森本典夫君） 90。

委員長（柳井一徳君） 90番。

委員（森本典夫君） 93。

委員長（柳井一徳君） 93番。

委員（森本典夫君） 101番。

委員長（柳井一徳君） 101番。

今4つの項目のご意見が出ました。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） この89番、90番、93番、101番をBと決定いたします。

委員（森本典夫君） 皆さんよろしいでしょうかというの。

委員長（柳井一徳君） 決定することよろしいでしょうか。

委員（三宅文雄君） お尋ねします。102番と103番に道路に外灯というて外という字を書いているんですけど、これはこの字でよろしいんでしょうか。

委員（森本典夫君） 街じゃろうな。

委員長（柳井一徳君） 街。

議会事務局長（川田純士君） 外の灯。

委員長（柳井一徳君） 今三宅委員からこれもBということでご意見でしょうか、三宅委員。

委員（森本典夫君） じゃねえんじゃな。

委員（三宅文雄君） はい。

委員長（柳井一徳君） じゃあなくて、外灯の質問ということですね。

では、再度お尋ねいたします。89番、90番、93番、101番、森本委員のご意見Bでございました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、これをBということで決定させていただきます。

では、次のページで107番から126番まででBのご意見ございますか。

委員（森本典夫君） 122番。

委員長（柳井一徳君） 122番。

今、122番、ライブカメラをふやしてほしいと、関連したのが120、121とございますがこれも含めて……。

委員（森本典夫君） ああ、そうかそうか。

委員長（柳井一徳君） 入れておいてよろしいでしょうか。

委員（森本典夫君） はい。

委員長（柳井一徳君） では、120、121、122とライブカメラという項目があります。これをBではどうかというご意見がございました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定をさせていただきます。

委員（三宅文雄君） 済みません。116、117も同じことじゃないんですかね。

委員長（柳井一徳君） 116、117。

委員（三宅文雄君） 118、119も。

委員長（柳井一徳君） 118、119。カメラ。

委員（三宅文雄君） みんなカメラみたいな気がするんですが。

委員長（柳井一徳君） 今三宅委員からも追加のご意見ございまして、116番から122番まで全てBでいいんじゃないかというご意見がございました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、116番から122番までをBとさせていただきます。

では、次のページで荏原最後は127番から138番まででBに分類されるものがございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 136番。

委員長（柳井一徳君） 136番。民地同士の被害で大規模なものは行政として助言が必要ではないか、補助金のようなものはないかという項目が、ご意見がBということでした。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） これをBと。

委員（簀戸利昭君） これは、意識にも関係あると思いますので130番。

委員長（柳井一徳君） 130番。130番も追加ということで、避難勧告発令後避難した方が約17%、しなかった方が60%、もっと危機感をもつようにという啓発ですかね。そういったことも含めてのBということですが、これもBということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） ほかはございませんか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） では、次のページで野上地区と青野地区を一括でいきたいと思えます。

委員（森本典夫君） 地区別にいきましょう。

委員長（柳井一徳君） 地区別でいきましょうか。

では、野上地区だけ。

野上地区でBございますか。

委員（森本典夫君） 1と12。

委員長（柳井一徳君） 1番と12番。災害ごみのカウントの仕方についてというところと高齢者に対する助成は介護認定を受けた人だけかというところ、Bというご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定させていただきます。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 次は青野地区に参りたいと思います。

青野地区1件だけですが、出産サポート体制を作る（自宅出産含）ということでご意見が

あるんですが、A、Bどちらでいいでしょうか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） Aということよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Aで決定させていただきます。

西江原地区からまいりたいと思います。

1番から12番でBのほうございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 10番。

委員長（柳井一徳君） 10番。

委員（簀戸利昭君） これは、防災・減災と書いてあるんですが、広報の問題であったりするので1番から7番までがBでいいと思います。

委員長（柳井一徳君） 今1番から7番までが広報に関する事、情報発信ということでB、それから10番が独居高齢者、障害者の避難時の体制などマニュアルが必要だということでB、この6項目Bということよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということ決定させていただきます。

次は、芳井地区の1番から18番まででBの項目がございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 2番。

委員長（柳井一徳君） 2番。

委員（森本典夫君） 3番。

委員長（柳井一徳君） 3番。

委員（森本典夫君） 7番。

委員長（柳井一徳君） 7番。

委員（森本典夫君） 14番。

委員長（柳井一徳君） 14番。

委員（森本典夫君） 17番。

委員長（柳井一徳君） 17番。

委員（森本典夫君） 18番。

委員長（柳井一徳君） 18番。

今2番、3番それから7番、14番、17番、18番とBのご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、ほかにございませんか、B、追加。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 2ページ目、19番から36番まででBがございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 19番。

委員長（柳井一徳君） 19番。

委員（森本典夫君） 23番。

委員長（柳井一徳君） 23番。

委員（森本典夫君） 34番。

委員長（柳井一徳君） 34番。

委員（森本典夫君） 36番。

委員長（柳井一徳君） 36番。

今4つの項目、19番、23番、34番、36番のBのご意見が出ました。

Bで。

委員（簗戸利昭君） 同じくお知らせくん、要は情報伝達のところも含めまして27番から34番まで。

委員長（柳井一徳君） 27番から33番、34番は重複するんであれですが、35番もですかね。

委員（森本典夫君） 35番、お知らせくん。

委員長（柳井一徳君） 35番もお知らせくんということ。

委員（森本典夫君） ほんなら、あれじゃろう。36までずっとじゃな。

委員長（柳井一徳君） 36までですね。

では、19、23それから27から36まで、これをBということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bで決定させていただきます。

次のページが42番から60番まででBの項目の欄がございますか。

委員（森本典夫君） 51番。

委員長（柳井一徳君） 51番。

委員（森本典夫君） 53番。

委員長（柳井一徳君） 53番。

委員（森本典夫君） 43番。

委員長（柳井一徳君） 43番もですね。

委員（森本典夫君） それだけですね。

委員長（柳井一徳君） 43番、地区会長への避難所設定の連絡等というところとそれから51番、自主防災のマニュアルあるか、53番、自主防災組織何地区あるのか、この3つの項目がBということでございます。

委員（柳原英子君） 一応44番から53番までは自主防災組織のことなので。

委員長（柳井一徳君） 自主防災組織。

55番までですかね。56番まで。

委員（柳原英子君） 全部じゃない。

委員長（柳井一徳君） 56番まで。

委員（柳原英子君） はい。

委員長（柳井一徳君） 自主防災組織のくくりということで44番から。

委員（三宅文雄君） 44から56まで。

委員（森本典夫君） 44からか。

委員長（柳井一徳君） 44番から56番までを追加ということで、43番から56番までということで全てBということでよろしいですか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、これをBということで決定させていただきます。

次のページが、61番から81番まででございます。

委員（森本典夫君） 64番。

委員長（柳井一徳君） 64番。

委員（森本典夫君） 65番。

委員長（柳井一徳君） 65番。
委員（森本典夫君） 66番。
委員長（柳井一徳君） 66番。
委員（森本典夫君） 67番。
委員長（柳井一徳君） 67番。
委員（森本典夫君） 68番。
委員長（柳井一徳君） 68番。
委員（森本典夫君） それから、70番。
委員長（柳井一徳君） 70番。
委員（森本典夫君） 73番。
委員長（柳井一徳君） 73番。
委員（森本典夫君） それから、80番。
委員長（柳井一徳君） 80番。
委員（森本典夫君） 以上。
委員長（柳井一徳君） 今64番から68番まで、それから70番、73番、80番がB
というご意見が出ました。

ほかに追加ございますか。

委員（簀戸利昭君） 78番。
委員長（柳井一徳君） 78番。
委員（簀戸利昭君） 79番。
委員長（柳井一徳君） 79番。
委員（簀戸利昭君） 80番。
委員長（柳井一徳君） 80番。
委員（簀戸利昭君） 81番まで。
委員長（柳井一徳君） 今78番から81番まで、80番は重複しますが、これがBとい
うことでご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、芳井のこの61番から81番は、64番から68番、そし
て70番、73番、それから78番から81番、これをBとさせていただきます。

芳井の82番から93番でBの項目ございますか。

委員（森本典夫君） 84番。

委員長（柳井一徳君） 84番。

委員（森本典夫君） 86番。

委員長（柳井一徳君） 86番。

委員（森本典夫君） 以上。

委員長（柳井一徳君） 今84番、86番のご意見が出ました。

ほかに追加ございますか。

委員（柳原英子君） 88番。

委員長（柳井一徳君） 88番。

84番、86番、88番、Bということで決してよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、そのように決定させていただきます。

では、芳井最後の94番から99番まで、Bがございますでしょうか。

委員（森本典夫君） 99番。

委員長（柳井一徳君） 99番。

市議の皆さん回ってくださいというご意見なんでいただきました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定させていただきます。

美星地区、3個でございます。23、24、48、Bがございますでしょうか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） ここはAということで決定させていただきます。

以上でA、B項目分類分け。

事務局いいでしょうか。

議会事務局長（川田純土君） 全体を通して。

委員長（柳井一徳君） 全体で。

再度全体で、関連したところも抜けているところがあるかもわからないんですが、見直しという意味合いであれば追加をしていきたいと思いますがいかがでしょうか。

議会事務局主任（吉原茂充君） 済みません。全てを見きれてはいないんですが、ご協議

いただければと思いますところを幾つかありますので、私のほうから気がついた部分だけお知らせさせていただきます。

大江の23番、お知らせくんの関係がございますが、こちらについてはいかがいたしましょうか。

委員長（柳井一徳君） お知らせくん。

今事務局から提案がございました。23番、お知らせくんということでございます。Bに上げたほうがいいのではないかなというふうなご意見、よろしいでしょうか。決定させていただきます。Bということで。

〈異議なし〉

議会事務局主任（吉原茂充君） 続きまして、荏原地区。

委員長（柳井一徳君） 荏原。

議会事務局主任（吉原茂充君） 8番のところでもットの関係を上げていただきました。その前後で幾らか備蓄の関係が上がってきてるかなと思うんですが、このあたりはいかがいたしましょうか。

委員（柳原英子君） 避難所管理ね。

委員長（柳井一徳君） 決定したのは8番と11番でございますが、8番に関連したところでマットということで備蓄品、6番、7番、8番、9番のところも備蓄品というような項目につながるかなと思いますがいかがでしょうか。事務局からBという提案がありました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bとさせていただきます。

6番、7番、8番、9番それから11番と、このページはその5つということです。

議会事務局主任（吉原茂充君） 同じく荏原地区なんですが、14番、15番、その下のあたりもなんですが、荏原小学校ふれあいセンターに開設したほうがよかったのか、15番では避難場所が小学校で大丈夫なのかというようなところが井原地区の7番、8番あたりでアクティブライフとかほかの施設も避難所としてどうなのかと、8番では井原の8番、井原小学校避難所なのはおかしいというようなこともありましたのでこのあたりが関係するのかなというようなところを感じたんですが、14から……。

委員長（柳井一徳君） 17ぐらい。

議会事務局主任（吉原茂充君） 17、18、19、20、このあたりがいかげんなものな

のかというところでご協議いただければと思います。

委員長（柳井一徳君） ただいま事務局から14番から次のページかかりますが20番までですかね、避難所としての対応ということについてなんです、いかがいたしましょうか。

21は公民館対応か。これはいいか。20番まで。20番までですね。

委員（森本典夫君） 結構です。追加して結構です。

委員長（柳井一徳君） では、14番から次のページ入りますけど20番までをBということで決定させていただきます。

事務局ほかございますか。

議会事務局主任（吉原茂充君） あと、荏原の57番。

委員長（柳井一徳君） 57番。

議会事務局主任（吉原茂充君） 情報ツールの整備なんです、地区忘れたんですがどこかの地区で何か整備がというようなところが出てきたような記憶があったんですが、どこか、携帯を持ってないスマホ等がないというところが、荏原の52番ですね。

委員長（柳井一徳君） 荏原の52番。

議会事務局主任（吉原茂充君） 情報提供の方法のようなところだと、57番も関連するのかどうなのかというところが。

委員（柳原英子君） 情報ツール。

委員長（柳井一徳君） 今事務局のほうから52番がBなので57番も情報ツールということからいけばBではないかというご意見が出ました。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、57番もBに追加ということで。

58番それから60番に関してはどうでしょうか。

委員（三宅文雄君） 58番もBだと思いますけど。

委員長（柳井一徳君） 58番もB。

委員（三宅文雄君） はい。

委員長（柳井一徳君） というご意見がございました。

ほか60番いかがですか、井原放送、テレビということで。

委員（森本典夫君） ありがたかった。

委員長（柳井一徳君） ありがたかったということで、これ感想なのでいいです。

いいですね。

58番をBということで追加してもよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、58番も。

委員（簀戸利昭君） 荏原の50番は入れましたかね。

委員長（柳井一徳君） 荏原の50番。

委員（森本典夫君） 入ってない。

委員長（柳井一徳君） 入ってないです。

委員（簀戸利昭君） それも情報伝達の理由ということで。

委員長（柳井一徳君） 今簀戸委員のほうから50番、避難準備、勧告、指示それぞれ理解できてない人がいるということもBということでいかがでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、50番もBに追加をさせていただきます。

ほかに事務局ございますか。

議会事務局主任（吉原茂充君） 荏原の95番のあたり、95、98ぐらいまでにかけてなんですが、先ほど芳井地区で68番であるとか67番、このあたりひとり暮らしの方とか弱者の方の避難についての関係を上げている絡みでこの辺が絡むのかどうなのかというところで整合性を合わせていただければと思います。

委員（森本典夫君） 絡めましょう。

委員長（柳井一徳君） 今Bということで95番から98番までをBというご意見がございました。森本委員のほうからも賛成というご意見出ましたのでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定させていただきます。追加します。

議会事務局主任（吉原茂充君） 98番までですか。

委員長（柳井一徳君） 98番まで。

93番と95番から98番までの4つを追加ということでよろしいですね。

〈異議なし〉

議会事務局主任（吉原茂充君） あとですが、芳井の18番で福祉避難所のことに触れられておりますが17番、その次のページ19番、あと20番も弱者の方、このあたりどこまで含めていくかというところでご協議いただければと思います。

委員長（柳井一徳君） 前のページの17番、18番、Bになっています。それで、次のページの19、20、21番もBでしたほうが整合性があるのではというご意見です。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで決定させていただきます。19番、20番、21番。

ほかは事務局ありますか。

議会事務局次長（藤原靖和君） 芳井の65番、66番で……。

委員長（柳井一徳君） 65番、66番。

議会事務局次長（藤原靖和君） 石灰に関するところでBをつけられています。荏原の91、92。

委員長（柳井一徳君） 荏原の91、92。

議会事務局次長（藤原靖和君） 消石灰なんですけど、Aになっていますが整合性のほうお願いいたします。

委員長（柳井一徳君） 今次長のほうからご指摘がありまして、荏原の91番、92番も消石灰のことですがBではないかというご意見です。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bということで追加をさせていただきます。荏原の91番、92番です。

今どこまでいったんだっけ。芳井の19、20、21を今追加をいたしました。そして、42から60番で見直しがありますか、事務局。

委員（三宅文雄君） 済みません。避難所にマットとかタオルとかということで荏原で出たのが、芳井の12番。

委員長（柳井一徳君） 12番。

委員（三宅文雄君） 保温マット、毛布という項目があるんで、関連するんじゃないか。11番も。その前も。

委員長（柳井一徳君） 備蓄品ということで今三宅委員のほうから。

委員（三宅文雄君） 芳井の10番、11番、12番ですね。

委員長（柳井一徳君） 10番から11番、12番、13番もですかね。

委員（三宅文雄君） はい、そうです。

委員長（柳井一徳君） 13番もですね。

上の9番はいいんですかね。

委員（柳原英子君） 仕分けしてくれてるとおりで。

委員長（柳井一徳君） 9番は情報もあるし備蓄品もあるしで。

委員（柳原英子君） 結局仕分けをしてくださってる分をBにするのがこれとこれみたいな感じでなってますね。今よろしい、それはいいんですけど、今そうなってるねと思っただけです。済みません。

委員長（柳井一徳君） では、9番も含めてBということでよろしいですか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、9番から13番までをBとさせていただきます。

議会事務局主任（吉原茂充君） 前後して申しわけありません。芳井地区69番。

委員長（柳井一徳君） 69番。

議会事務局主任（吉原茂充君） 70番あたり、このあたりもひとり暮らしとか。

委員（森本典夫君） 70は入れたな。

委員長（柳井一徳君） 70はBになっていますので、69も、では老人福祉ということでBに追加というご意見です。

〈異議なし〉

議会事務局主任（吉原茂充君） 71はいかがです。

委員長（柳井一徳君） 71がお年寄り。

委員（森本典夫君） これも入れましょう。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） 71もではBということで決定します。

委員（惣台己吉君） 済みません。芳井の15番。

委員長（柳井一徳君） 15番。

委員（惣台己吉君） 車椅子を設置するということは研究したほうがいいと思いますけど。実際に西江原がなくてこれ持ってきてもらったんですけど、そのときに市に何台ある言うたら5台あるということじゃったんです。ほんで、芳井は車椅子。

委員長（柳井一徳君） 今惣台委員のほうから芳井の15番、避難準備、車椅子を設置することということ、福祉の関係になってくると思うんですが、Bに追加してよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

議会事務局長（川田純士君） 16番……。

委員長（柳井一徳君） 16番も備品ということ、大まかな備品というだけになるんですが、これもBに追加よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

議会事務局主任（吉原茂充君） 荏原地区の59番なんですけど、情報ということで体育館にテレビがなかったというようなことなんですけど、53番をいかがいたしましょうか。

委員（森本典夫君） Bに入れにやいけんなあ。

委員長（柳井一徳君） それもBということで決定させていただきます。追加します。

議会事務局主任（吉原茂充君） これに関連して、今見つけられてはないんですが芳井地区でもテレビが上がっていたんですが番号が。

委員（森本典夫君） 9番が、これ入れとるな。

委員長（柳井一徳君） 9番ですね。9番なってますね。

委員（三宅文雄君） 26番ですか。

委員長（柳井一徳君） 26番。テレビを設置してほしい。

では、これもBに追加してよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

議会事務局主任（吉原茂充君） 25番。

委員長（柳井一徳君） 25番もですね。

議会事務局主任（吉原茂充君） 24番。

委員長（柳井一徳君） 上の24番はいかがですか。

委員（柳原英子君） Bですね。

委員長（柳井一徳君） Wi-Fiのことかな、これ。

では、これも一応Bということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員（森本典夫君） これというのは24。

委員長（柳井一徳君） 24。

芳井、もう一度言います。芳井の24番、25番、26番、これを追加、Bでお願いいたします。

委員（惣台己吉君） ここは22番以外は全部Bということですか。

委員長（柳井一徳君） 22以外は全部ですね。そういうことですね。

議会事務局次長（藤原靖和君） 荏原の132番の。

委員長（柳井一徳君） 荏原の32番。

議会事務局次長（藤原靖和君） 乳幼児の避難に関することが記載されています。

委員長（柳井一徳君） 32番。

議会事務局次長（藤原靖和君） 高齢者の……。

委員（森本典夫君） 何番。

議会事務局次長（藤原靖和君） 132番。

委員長（柳井一徳君） 132番。乳幼児を連れて。

議会事務局次長（藤原靖和君） 乳幼児の避難のことについてなんですが、災害時の避難の弱者ということで高齢者の避難についてはBに入れたようなことがありますがいかがいたしましょう。

委員長（柳井一徳君） 高齢者はBに入れたんですが、乳幼児を連れての避難も危険だという意味合いからいったらBのご意見よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） Bに追加をいたします。

委員（惣台己吉君） 済みません。荏原の134番。

委員長（柳井一徳君） 荏原の134番。

委員（惣台己吉君） これは防災に対する教育、これは大ざっぱなんですけど障害者、高

齡者……。

委員長（柳井一徳君） 含めての。

委員（惣台己吉君） 含めての全部のこれは女性の人の意見だったと思いますんで。

委員長（柳井一徳君） 今惣台委員のほうからもこの防災に対する大きいくりですけど
いろんな意味合いでの教育ということで、Bでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bにさせていただきます。

議会事務局主任（吉原茂充君） 今の教育という関連になってくるんですが、芳井の95
番、若干教育、限定的なものなんですが、防災キャンプなんかをして小学生に周知をする、
このあたりが関連するのかなのかご協議いただければと思います。

委員（惣台己吉君） 何番でしょうか。

委員長（柳井一徳君） 95番の防災キャンプの実施、小学生という欄があるんですが、
これに関して今教育の一環でいかがかというご意見です。

委員（森本典夫君） 入れましょう。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bに入れさせていただきます。

このページは95番と99番ですね。

議会事務局主任（吉原茂充君） 済みません。今の教育、これも関連するかどうか微妙な
ところかもしれないんですが、木之子59番。

委員長（柳井一徳君） 木之子の59番。

議会事務局主任（吉原茂充君） ここが関連するのかなのかご協議をいただければと
思います。

委員長（柳井一徳君） この災害を教訓に避難の重要性を家庭、学校でも教えていかなけ
ればならない。この59番をBというご意見ございました。

委員（森本典夫君） 追加しましょう。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） Bで追加させていただきます。

ほかはよろしいでしょうか。

議会事務局次長（藤原靖和君） 先ほどの防災教育についてであります。まず1点、大江の46番。

委員長（柳井一徳君） 大江、46番。

議会事務局次長（藤原靖和君） 教育の関係でどうかと。

委員長（柳井一徳君） 今回を教訓に日ごろから防災意識を徹底するという項目、これを、意見をBということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

議会事務局次長（藤原靖和君） 引き続き、荏原の127番。

委員長（柳井一徳君） 荏原の127番。

議会事務局次長（藤原靖和君） これも防災教育に関する。

委員長（柳井一徳君） 127番。荏原の127番、防災に対する教育ができていなかった。これもBというご意見です。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） では、Bにさせていただきます。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） では、時間もかかりますが。

今Bのほうに振り分けさせてもらいました。これを今後どうしていくか、それをまたいつ再開するかということで、本会議中のは。

議会事務局長（川田純士君） だから、これからあるとすれば本会議の開会日の委員会。

委員長（柳井一徳君） 10月もしくは12月の定例会のときに各委員で調査・研究したい項目を所管事務調査にあげていく。ほかの項目については、また委員会の中でテーマをあげて協議していき、調査・研究していくということによろしいですか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） 事務局のほうからまた追加ありますか。ないですか。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） これですべて市民の声を聴く会の意見交換で出た意見の対応については終わります。

〈行政視察について〉

〈行政視察先について協議〉

〈その他〉

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） では、閉会に当たり議長何かございましたら。

〈議長あいさつ〉

委員長（柳井一徳君） 以上で市民福祉委員会を閉会いたします。大変ご苦労さまでした。

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 井原 地区

テーマ『 西日本豪雨について（空き家対策について） 』

開催日： 平成30年7月18日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
井原	1	井原市の情報のとらえ方、危機意識がない。		A					防災、災害対策
井原	2	お知らせくんの使い方に疑問を感じる。(流す情報、市民の設置についても)	○	B					防災、災害対策
井原	3	自然災害、災害に対する備えの啓発をもっとするべき。		A					防災、災害対策
井原	4	避難訓練を自治会ごとできるように井原市が自治会に強制してほしい。		A					防災、災害対策
井原	5	防災計画の見直し。防災マップに矛盾がある。		A					防災、災害対策
井原	6	避難所開設の際に、アクティブや地場産が開いていなかった。開けてほしい。		B					防災、災害対策
井原	7	避難所には地場産、アクティブ、井原高校、市民病院も必要。		B					防災、災害対策
井原	8	井原小学校が避難場所なのはおかしい。		B					防災、災害対策
井原	9	事前に自動車を避難させたいが、井原高校を使わせてほしい。		B					防災、災害対策
井原	10	西日本豪雨による井原市の対応が7月18日になって、終わったように思われている気がする。まだ危険がある。		A					災害対策
井原	12	自治会長が依頼される調査が多い。(毎年)		A					協働推進

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 大江 地区

テーマ『 このたびの豪雨災害について

』

開催日： 平成30年7月24日

地区	番号	出された意見	振分先委員会					テーマの小分類	
			総文	市福	建水	予決	議運		広聴
大江	1	身体障がい者の避難場所をもう少し考えてほしい。特に、車いすの場合トイレに行けない。		A					避難所管理
大江	2	(折口住宅)車いすの方や高齢者に優しい避難所の設置。洋式トイレ、簡易ベッドは必要ではないか。		A					避難所管理
大江	3	避難場所は適正か。		A					避難所管理
大江	4	体育館の下にトイレがある。		A					避難所管理
大江	5	障がい者の方もベッドがないと。		A					避難所管理
大江	6	岡田小学校は教室が避難場所になっていて、段ボールベッド、クーラーがある。		A					避難所管理
大江	7	公民館の西側がつかった。避難場所がつかっては危ない。		A					避難所管理
大江	8	折口団地の裏が崩れた。小学校に避難しても障がい者用のトイレがないので公民館へ避難した。		A					避難所管理
大江	9	大江小学校が避難場所であると逆に危ない。体育館の裏とプール横で土砂崩れが起こった。		A					避難所管理
大江	10	土砂・水害時の避難場所としては、避難の場所が問題である。		A					避難所管理
大江	11	小学校のプール側は崩れる予感がして、市には報告していたが、そのまま。教頭先生には報告。		A					避難所管理
大江	12	避難所での指示・命令系統が明確になっていない。		A					避難所管理
大江	13	避難所(大江小学校)へは市の職員は2人。どこまで地域と連携が取れていたか。		A					避難所管理
大江	14	避難所に簡易ベッドが欲しい。		A					避難所管理
大江	15	コミュニティ公民館で、避難所として機能しうるものがあるのか調査する必要がある。		B					避難所管理
大江	16	現小学校が避難所としての役割を果たせないのなら、建て替えも視野に入れるべきでは。	○	A					避難所管理

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
大江	22	8日朝、市役所に行って被害状況を報告に行ったが、玄関に受付もなく、行く場所がわからず帰った。せめて、対策本部の受付ぐらいはしてはどうか。	○	A					行政・災害対策本部
大江	23	「お知らせくん」からの情報が全戸に伝わっているのか。中にはスイッチを切っている家もあるのではないか。	○	B					お知らせくん・防災
大江	24	地すべり地域へ、定期的に状況報告をお願いします。		A	○				災害情報
大江	25	井原放送で地図表示。		A					災害情報
大江	26	避難所に情報がなかなか入ってこない。		A					災害情報
大江	27	国・県・市・地域・市民との連絡、情報伝達体制のありかた。		A					災害情報・行政と自治体の連携
大江	28	通行止めのところには、誘導員をつけてほしい。		A	○				災害対応
大江	29	自主防災組織はあるが、あまり機能していない。		B					自主防災組織
大江	30	防災に関する組織づくりをしていかなければならないが、組織づくりのマニュアルはあるのか。地域の人と連携できるような仕組み。		B					自主防災組織
大江	31	今後の災害に備えての訓練をしっかりと実施していく必要がある。(できるだけ、小規模単位＝単位自治会、向こう三軒両隣で可能か。)		B					自主防災組織
大江	32	市の対策協議会と連動する地域の住民との連携ができる地域対策協議会が必要ではないか。情報伝達体制の確立・防災組織の一元化等々のシステムの構築		B					自主防災組織・災害情報・行政と自治体の連携
大江	33	停電・断水対策・食料の確保のシステム。		A	○				被災者援助
大江	34	みなし仮設住宅などの整理をしてはどうか。		B					被災者援助
大江	35	大江小学校のプールが利用できなくなっているが、B&Gをつかえるようにしてもらえないか。または、他の小学校のプールを利用できないか。	○	A					被災者援助
大江	36	災害ボランティア募集情報を早めになるべく多くの人に伝わる方法ですすめてほしい。		A					被災者援助
大江	37	防災マップは適切か。		A					防災
大江	38	危険個所を自治会長がリストアップしてまとめる。		A					防災
大江	39	相原池があふれたら、避難するところがない。		A					防災

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
大江	40	危機管理課の管理体制。		A					防災
大江	41	カメラの設置を増やしてほしい。		B					防災
大江	42	台風シーズンまでに、二次被害の恐れがある場所の調査。		A	○				防災
大江	43	高屋川の定点観測カメラを増設する必要があるのではないか。		A					防災
大江	44	新川土手決壊のハザードマップが必要ではないか。		A					防災
大江	45	歩いて避難できない。		A					防災・避難援助
大江	46	今回を教訓に日頃からの防災意識を徹底する。		B					防災意識
大江	47	防災士に活動費を。		A					防災士
大江	48	自治会長さんの意識を高めるような研修。コミュニティーの組合はあて職。よって、地域で選ばれた防災士が必要。		A					防災士
大江	49	防災士の人数6人/2000人は適正な人数だろうか。		A					防災士
大江	53	若い人がいない。→子育て支援が重要。子供を育てるのにお金がかかりすぎる。		A					子育て支援

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 木之子 地区

テーマ『 防災について

開催日： 平成30年7月20日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	1	ハザードマップの周知徹底を。		A					ハザードマップの周知
木之子	2	ハザードマップ。水位は何cmか。土嚢が少なかった。		A	○				ハザードマップ、災害用品の整備
木之子	3	避難所の毛布が少なかった。市が指示をもっと出してくれてよい。		A					避難所について
木之子	4	下原地区は孤立している。2カ所崩れ、地区内の高いところに行き、3軒は、公民館で過ごした。要望書(26軒)出しているが、小田川より高い所に避難所の設置を。		A					避難所について
木之子	5	避難場所を知らない。小・中学校は安全か。		A					避難所について
木之子	6	避難場所の設定等早期決定を。		A					避難所について
木之子	7	農免道路より南側(西郷地区)の避難場所は。		A					避難所について
木之子	8	木之子町は水害土砂災害等で逃げる場所がない。高台に建物建設を。		A	○				避難所について
木之子	9	避難場所が体育館と思ひ込み、家の2階の方が安全と思ひ避難しなかった。		A					避難所について
木之子	10	避難場所が小学校3階では足、腰の悪い人は利用しにくい。		A					避難所について
木之子	11	要介護者への対応。		A					避難者への対応
木之子	12	避難勧告、避難指示の意味が理解できない人がいる。どの時点で避難すべきか。		B					情報の伝達について
木之子	13	避難勧告、避難指示の違いを市民が理解していない。市民の危機感不足。		B					情報の伝達について
木之子	14	避難勧告、避難指示の違いを市民が理解していない。徹底を。		B					情報の伝達について
木之子	15	避難指示が出た場合、広報車を回してほしい。		B					情報の伝達について
木之子	16	避難指示はすぐに避難しなければならないことの徹底。		B					情報の伝達について
木之子	17	避難指示より命令の方が避難したかもしれない。		B					情報の伝達について
木之子	18	避難勧告、避難指示の意味。		B					情報の伝達について

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	19	ダムを放流の周知が行き届かなかった。住民の危機意識が低いことが被害の拡大となった。		B					情報の伝達について
木之子	20	避難指示ほか情報が遅い。避難意識の啓発不足(住民の意思)		B					情報の伝達について
木之子	21	避難勧告が放送されたが、本気になれなかった。大勢の人が避難できる場所が数力所必要である。小学校だけでなく、中学校も。		B					情報の伝達について
木之子	22	詳しい災害情報がほしい。		B					情報の伝達について
木之子	23	「お知らせくん」の役割が大きい。もっと繰り返して放送を。危機感をもって。		B					お知らせくんについて
木之子	24	「お知らせくん」の避難指示は早くてよかったが、聞いていない人も多かったので対策が必要。		B					お知らせくんについて
木之子	25	「お知らせくん」の随時の放送で早目に避難された人もいた。		B					お知らせくんについて
木之子	36	決壊は想定外。		A	○				河川管理
木之子	41	小さな地域から防災組織づくりを。近隣住民の確認方法の徹底。		B					組織づくり
木之子	42	木之子防災組織の早期確立を。避難所でのケアの重要性を。		B					組織づくり
木之子	43	避難時点で誰がリーダーで誰が指示するのか決める必要がある。組織づくり。		B					組織づくり
木之子	44	地域防災組織の確立。		B					組織づくり
木之子	45	木之子の防災について考える会の設置。		B					組織づくり
木之子	46	災害時の避難組織の必要性。		B					組織づくり
木之子	47	惣谷自主防災会組織はあるが、木之子地区全体の組織があるのか。連携が必要。		B					組織づくり
木之子	48	避難時の連携の重要性。		A					連携
木之子	49	隣近所の方との話し合いの必要性。		A					連携
木之子	50	近隣とのコミュニケーションは大切。		A					連携
木之子	51	森脇地区は何もなくてよかった。		A					災害なし
木之子	52	炊き出し等のタイミング。(時期)		A					避難所の運営

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	53	ボランティアや寄付金等発信がわかりにくい。		A					災害後の情報発信について
木之子	54	私有地災害は公共工事とならないが、耕作放棄地の対応を願う。		A	○				耕作放棄地の被災の対応
木之子	55	防災予算の拡充を。	○	A	○				予算
木之子	56	今後の井原市の水害対策は。		A					水害対策
木之子	57	水害を含めた地域防災計画の確立。		A					防災計画
木之子	58	この災害を教訓に各地区における訓練等の強化。夜であったこともあり、車での移動のため道路の幅員等の標識がわからないので標識灯等整備が必要。		A	○				防災訓練、標識整備
木之子	59	この災害を教訓に避難の重要性を家庭・学校でも教えていかなければならない。	○	B					防災教育
木之子	60	防災メールで通行止め連絡がくるが、どこなのかわからない。グーグルで調べたが？		A	○				通行止めの情報
木之子	62	行政を超えた援助協定を。	○	A					協定
木之子	63	矢掛ボランティアセンターのシステムや発信の仕方がわかりやすい。参考に。		A					防災体制について
木之子	64	災害対策本部がわからない。		A					防災体制について
木之子	65	指示・指揮統一を。		A					防災体制について

第8回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 荏原 地区

テーマ『 このたびの豪雨災害について

開催日： 平成30年8月2日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	1	避難場所の体育館のカギを誰が持つか。学校任せは如何なものか。公民館へカギを置いたらどうか。	○	A					避難所管理
荏原	2	体育館などのかぎの管理はだれか。	○	A					避難所管理
荏原	3	大雨と地震の避難場所は、別々に検討し決めたらどうか。		A					避難所管理
荏原	4	避難場所は大雨と地震で区別する。		A					避難所管理
荏原	5	自治会単位であらかじめ避難場所を決めておいても良いのではないか。		A					避難所管理
荏原	6	避難場所の対応は実にお粗末であった。マットも毛布も全く不足していた。ずぶ濡れの状態の避難者は着替えもない。寒い時期であれば、もっと大きな問題になったに違いない。		B					避難所管理
荏原	7	避難所へ備品(毛布・マット・タオル)など備蓄を。		B					避難所管理
荏原	8	荏原小学校体育館にマットが不足のことでした。今後どうなりますか。		B					避難所管理
荏原	9	避難所として体育館があるのか。水・毛布・その他の避難所グッズの備蓄を。		B					避難所管理
荏原	10	新設を依頼している公民館は避難場所としても対応できる建物。設備が必要。	○	A					避難所管理
荏原	11	小学校と体育館を2階部分でつなげることはできないか。	○	B					避難所管理
荏原	12	今回みずきでは、2回孤立した。備蓄食にて食事は対応できたが、数日孤立する場合や避難者が増加した場合、備蓄食では持ちこたえることができない。救援物資等については、荏原小学校に取りに行くことができるのか？		A					避難所管理
荏原	13	避難場所の開放を早めに		A					避難所管理
荏原	14	避難所を荏原小学校とふれあいセンターに開設した方がよかったのではないか。		B					避難所管理
荏原	15	避難場所が小学校で大丈夫なのか。		B					避難所管理
荏原	16	小学校の校舎の二階、三階が避難場所であれば。		B					避難所管理
荏原	17	公民館を避難場所。		B					避難所管理

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	18	ふれあいセンターなど、災害時には勝手に開けても良い制度をつくっては。		B					避難所管理
荏原	19	避難場所の見直し。		B					避難所管理
荏原	20	避難場所の選定、小学校の体育館？		B					避難所管理
荏原	21	公民館で災害対応のグッズの整備。		A					避難所管理
荏原	22	お知らせくんの設置。(みずきへの)	○	B					お知らせくん
荏原	23	お知らせくんから避難指示が出たそうですが、聞く時間がなかった。	○	B					お知らせくん
荏原	24	お知らせくんが役に立たない。	○	B					お知らせくん
荏原	25	避難判断はお知らせくん、井原放送、メールで判断した。	○	B					お知らせくん
荏原	26	停電・断水したら、井原放送・お知らせくんは機能せず情報が入らない。北川地区の屋外拡声器から状況を知ることができた。	○	B					お知らせくん
荏原	27	お知らせくんは今回避難に役立ったので、未設置世帯は早急に設置した方がよい。	○	B					お知らせくん
荏原	50	避難準備・勧告・指示、それぞれの対応を理解できていない人が30%いる。		B					災害意識
荏原	51	情報を共有できる体制を構築するべきだ。		A					災害情報
荏原	52	スマホ等を利用しない家庭への情報提供方法を考えてもらいたい。		B					災害情報
荏原	53	避難場所にはテレビを設置してほしい。情報が入らないので不安であった。		B					災害情報
荏原	54	災害状況の伝達、伝達情報の共有。		A					災害情報
荏原	55	情報提供が早くて助かった。		A					災害情報
荏原	56	現在の時点、状況などの把握。		A					災害情報
荏原	57	情報ツールの整理、整備。	○	B					災害情報
荏原	58	停電・断水時の情報ツールの整備、防災無線。	○	B					災害情報
荏原	59	体育館にテレビがなかった。井原放送の線だけでも設置できれば。		B					災害情報
荏原	60	井原放送で情報を得た。ローカルテレビのありがたさを感じた。		A					災害情報

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	61	他の連絡場所との連携体制をとってほしい。		A					他地域との連携
荏原	62	木之子下原の人が避難したいけど？結果的には荏原に避難できるルートがあり、広域的な情報交換が必要ではないか。		A					他地区との連携
荏原	63	自治連は、昨年防災訓練を実施したものの防災体制が全く機能していない。		B					自主防災組織
荏原	64	自主防災組織のメンバーが誰なのかよくわからない。		B					自主防災組織
荏原	65	自主防災組織から各自治会長への連絡網が出来ていなかった。		B					自主防災組織
荏原	66	高齢者や介護を必要とする方への対応が出来ていなかった。また、自主防災組織からの指示もなかった。		B					自主防災組織
荏原	67	一人住まいや高齢者等の避難所への移動に時間がかかった。誰が誰を見守るか、自治会単位で改めて確認し合う必要があるのではないか。		B					自主防災組織
荏原	68	地域の方々の災害意識が高いうちに勉強会を開催してほしい。		B					自主防災組織
荏原	69	地域で1人暮らしのお年寄りや、家族はいるが家族だけでは緊急時移動することが難しい要介護者など、地域で把握してくださっているとありがたいです。		B					自主防災組織
荏原	70	防災組織。		B					自主防災組織
荏原	71	水防災害にかかる組織からの連絡体制。		B					自主防災組織
荏原	72	災害発生時の組織図。		B					自主防災組織
荏原	73	災害発生時における状況把握の方法は今のままでよいのか。		B					自主防災組織
荏原	74	「災害時等避難行動要支援」の仕組みが機能したか。		B					自主防災組織
荏原	75	消防団としては立場上警察等の指示に従い交通整理などに対処したが、消防団の役割はなにか、自主防災会との連絡などもっと地元と密接に連絡したかったという忸怩たる思いがある。		A					消防団
荏原	76	交通整理を消防はしたが、それだけでよかったか。		A					消防団
荏原	77	消防団の役割は？		A					消防団
荏原	78	消防団員で市の職員のは地元に来られない。		A					消防団
荏原	79	国道をいつまで通行止めにするかよいかかわからなかった。		A					消防団
荏原	80	災害後には消防団には余裕があった。市が大変な時には手伝い出来る。		A					消防団

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	81	自治会から消防への要請をしても良いのでは。		A					消防団
荏原	82	矢掛・小田は消防がごみを回収、溝の泥上げ。		A					消防団
荏原	83	災害ごみの回収の対応が早くて助かった。		A					ゴミ
荏原	89	民地の土砂崩れの対応はどうなるのか？		B	○				土砂崩れ
荏原	90	土砂災害が民地の場合、行政の役割は。→個人ではどうにもならない。		B	○				土砂崩れ
荏原	91	消石灰は各自が市役所へ取りに行くのではなく、配るか、公民館へおいてほしい。		B					被災者援助
荏原	92	消石灰でない消毒剤を検討してほしい。		B					被災者援助
荏原	93	今回のような非常時には相談窓口を公民館に設置したほうが良いのではないか。わざわざ市役所まで行けない事態に陥っていた。		B					被災者援助
荏原	95	高齢者・障がい者等の対応。		B					避難援助
荏原	96	一人暮らし、老人の避難施設への移動体制。		B					避難援助
荏原	97	一人住まい世帯の安否確認。		B					避難援助
荏原	98	乳幼児のみならず、障害のある方についても避難しにくいのでは。		B					避難援助
荏原	99	避難場所は体育館だけで大丈夫か。体育館までの道路が水没してしまい、行くにも行けなかった。		A					避難経路
荏原	100	神代地区などは体育館へ行くこと自体が困難。		A					避難経路
荏原	101	みずきから避難場所までの道路は水没してしまった。道路のかさ上げが出来ないか。		B					避難経路
荏原	102	道路に外灯を増設してもらいたい場所がある。		A	○				避難経路
荏原	103	道路外灯の増設。		A	○				避難経路
荏原	104	道路に外灯が少ないので、施設周辺や避難所の小学校までも全く道がわからない状況がありました。外灯の数を増やしていただけないか？		A	○				避難経路
荏原	105	避難経路の見える化。		A					避難経路
荏原	106	避難場所にくる道が浸かって避難する車が水没した。		A					避難経路

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荇原	107	避難所が小学校になっていたが、小学校まで行けなかった人も。もっと合理的に！		A					避難経路
荇原	108	荇原小学校まで抜ける道を設置していただけないか。		A	○				避難経路
荇原	109	避難するときに道路が水没し、避難所に行くのに大変苦労した。		A					避難経路
荇原	110	小学校へ行くことが困難。何か所か避難する場所があれば。		A					避難経路
荇原	111	小学校区で一つ救命用のボートを準備してもらえないか。		A					防災
荇原	112	みずきも避難場所として利用できることを地元の人に知ってほしい。		A					防災
荇原	113	井原市の防災マップはあるが、もっとわかりやすい荇原地区の防災マップを作成すべきだ。		A					防災
荇原	114	避難所が冠水した場合、逃げ遅れた方の救助ボートが必要となります。救出(救命)ボートのようなものがあれば、救助要請があったときに冠水しても動けるのではないか。		A					防災
荇原	115	みずき、南団地の連携があってよかった。日ごろの付き合い。		A					防災
荇原	116	荇原地区に近い所の小田川のようにすがわかるカメラ。		B					防災
荇原	117	カメラを下谷川と合流点に設置。		B					防災
荇原	118	下谷川との合流地点の様子がわかるように好感度のライブカメラを設置し、井原放送での放映を追加してほしい。		B					防災
荇原	119	小田川と下谷川の合流地点の水位状態がわかるように高感度ライブカメラを設置する。		B					防災
荇原	120	ライブカメラ。		B					防災
荇原	121	ライブカメラ。現状は井原放送設置。市の助成が必要。		B					防災
荇原	122	ライブカメラを増やしてほしい。		B					防災
荇原	123	各自治会で防災マップの確認をしたら。		A					防災
荇原	124	荇原地区のマップ。		A					防災
荇原	125	ハザードマップの見直し。		A					防災
荇原	126	安否確認、情報の集約。		A					防災

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	127	防災に対する教育が出来ていなかった。		B					防災意識
荏原	128	今回の災害水位がわかるように電柱等に表示して忘れないようにする。		A					防災意識
荏原	129	各地域によって避難指示、合図、放送などが異なりますが、理解できる又は伝わる手段の方法が必要ではないでしょうか。		A					防災意識
荏原	130	避難勧告発令後避難した方約17%、しなかった方60%、もっと危機感をもつように。		B					防災意識
荏原	131	災害水位がわかるように標章を設置。		A					防災意識
荏原	132	乳幼児を連れての避難はまわりへの迷惑を考え、避難しにくかった。		B					防災意識
荏原	133	今回の水位の記録をしておいてください。		A					防災意識
荏原	134	防災に対する教育。		B					防災意識
荏原	135	行政は今回の災害で迅速に対応したと判断しているのか自己評価は？		A					行政
荏原	136	民地同士の被害で大規模なものは行政として助言が必要ではないか。補助金のようなものはないか。		B					行政
荏原	137	7/18日に荏原自治連がまとめ、報告した被害情報について期限付きで回答願いたい。		A					行政
荏原	138	幹線道路から流れ出した土砂を、緊急事態と判断して、行政が取り掛かる前に自ら撤去作業をしてくれた建設業者に対する何らかの配慮はないのか。		A	○				行政

第8回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 野上 地区

テーマ『 有害鳥獣対策、高齢者福祉、西日本豪雨について 』

開催日： 平成30年8月2日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
野上	1	災害ゴミのカウントの仕方については、被災した1戸が一件か、自動車一台が一件か。		B					災害対策
野上	12	高齢者に対する助成は介護認定を受けた人だけか、認定を受けてなくても受けられるようにしてほしい。(住宅改修などの予防ための)		B					高齢者福祉
野上	13	交通弱者のために予防接種を出張してほしい。		A					福祉
野上	14	手話言語条例が制定されたが、講演会などで高齢者や難聴者にも聞き取りやすく配慮してほしい。		A					福祉
野上	15	過疎地域の看護師、保健師の各戸巡回してほしい。		A					福祉

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 青野 地区

テーマ『 移住・定住について

』

開催日： 平成30年7月19日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
青野	9	出産サポート体制を作る。(自宅出産含)		A					出産

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 西江原 地区

テーマ『 防災・減災について考える

』

開催日： 平成30年7月23日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	1	住民の意思、心づもり、意識改革が必要。		B					防災・減災
西江原	2	情報発信の問題。(井原放送が具体的でない、お知らせくんの在り方)		B					防災・減災
西江原	5	避難場所での備蓄品の把握、個人での準備物がわからなかった。		B					防災・減災
西江原	6	避難指示が出たけれど、どうすれば良いかわからなかった。		B					防災・減災
西江原	7	避難場所が不明、小学校に避難してもどこから入るのかわからない。		B					防災・減災
西江原	8	訓練が必要である。(特に地域別に)		A					防災・減災
西江原	9	危険個所の確認ができていなかった。		A	○				防災・減災
西江原	10	独居高齢者や障害者の避難時の体制などマニュアルが必要。		B					防災・減災
西江原	11	ハザードマップの確認ができていない。		A					防災・減災
西江原	12	支援金や義援金等の支援策の具体的周知。	○	A					防災・減災

第8回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 芳井 地区

テーマ『 地域防災について

』

開催日： 平成30年7月26日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	1	避難場所の再考が必要か。水害の場合、川そばの避難所はかえって危ない様子となる。土砂災害、風害、地震災害で違う。		A					避難所管理
芳井	2	避難所に全員が避難できるのか。		B					避難所管理
芳井	3	避難場所の安全性は？		B					避難所管理
芳井	4	地域の避難場所が問題がある。		A					避難所管理
芳井	5	避難場所の設定の見直し。		A					避難所管理
芳井	6	明治・共和、近くのコミュニティーを開放してほしい。		A					避難所管理
芳井	7	西吉井コミュニティーハウスに避難しても安全か。		B					避難所管理
芳井	8	コミュニティーハウスを避難場所にしている意味がない。また、地区によっては冷暖房設備を取り外しているところもある。安心・安全なまちづくりの基本を整備してほしい。		A					避難所管理
芳井	9	各地区のコミュニティー等に非常用持ち出し品を置いてほしい。正確な情報を収集するためにはテレビが必要。		B					避難所管理
芳井	10	コミュニティー単位で、水・毛布・マット非常食など備蓄してほしい。		B					避難所管理
芳井	11	避難先には、毛布等の配置をしてほしい→行政は毛布が不足して困っている。		B					避難所管理
芳井	12	保温マット・毛布。		B					避難所管理
芳井	13	避難場所に毛布・水・保存食を配備すべき→共和、県道が寸断された。		B					避難所管理
芳井	14	避難場所への物資の配送はどうなっているか。		B					避難所管理
芳井	15	避難所に車いすを設置すること。		B					避難所管理
芳井	16	避難場所に備品がない。		B					避難所管理
芳井	17	福祉避難場所について。		B					避難所管理
芳井	18	福祉避難所は芳井にあるか？		B					避難所管理

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	19	障がい者・高齢者等の福祉避難所が必要ではないか？		B					避難所管理
芳井	20	弱者の避難の仕方は。		B					避難所管理
芳井	21	弱者の方の受け入れ避難場所は適切であるか。		B					避難所管理
芳井	22	農協、学習センター、川に近いから不安。		A					避難所管理
芳井	23	避難所の設定に伴う、準備設備は？個別避難所ごとの想定される人数、年齢、体調別の水、食料品、衣類、寝具、間仕切り、冷暖房、…特に電気・ガス、喪失時のためののカセットコンロやガスボンベ～湯が沸かせる。それに簡易トイレは？風呂対応は？乳幼児のミルクや寝たきりの状態の方の、紙おむつ。病人の薬、治療、検診システムを地域医師会、医療機関と構築するには？現状で想定出来得るかぎりの行政政策の策定。		B					避難所管理・医療
芳井	24	体育館に情報源のインターネット設備を引いておく必要がある。(パソコンは二の次)		B					避難所管理・災害情報
芳井	25	避難場所(体育館)に情報源となるテレビ(配線のみでも)設置すべき。		B					避難所管理・災害情報
芳井	26	各地区(公民館・コミュニティー)にテレビを配置してほしい。		B					避難所管理・災害情報
芳井	27	災害時に市に連絡するが自治会長にも情報を連絡すべき。		B					災害情報・行政と自治体の連携
芳井	30	避難勧告の発令でもっとお知らせくんで数分間隔で呼びかけるべきでは？話し方も事務的で本当に避難すべきなのか伝わってこない。指示になる前に何度も放送すべき。		B					お知らせくん・防災
芳井	31	「お知らせくん」について。今回の豪雨災害で避難指示が出たが「お知らせくん」のお知らせが少なかったような気がします。県民性として災害に疎いのでしっかり呼びかけを行ってほしい。		B					お知らせくん・防災
芳井	32	お知らせくん、体育館の声が小さいので大きく。(避難時に)		B					お知らせくん・防災
芳井	33	お知らせくんの回数を多く。昼間も。		B					お知らせくん・防災
芳井	34	井原市からお知らせくんや井原放送、メール配信等での情報伝達だけではカバーできないところがあるのではないかな？		B					お知らせくん・防災
芳井	35	防災無線の設備を利用したお知らせくんの放送開始。		B					お知らせくん・防災・防災無線
芳井	36	旧芳井町で使用していた防災無線の再使用はできないのか。お知らせくんでは家の中でしかわからない。緊急時だけでも使用はできないのか。		B					防災無線

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	42	コミュニティーから市に聞かないと情報とか必要なものの答えがもらえない。		A					行政と自治会との連携
芳井	43	地区会長への避難所設定の連絡等はないのか。消防団等への市よりの連絡はどうなっているのか。		B					行政と自治会との連携・消防
芳井	44	避難準備・避難勧告・避難指示は市内に一斉に発せられるが、自主防災組織が最小単位での活動ができる単位と考える。		B					自主防災組織
芳井	45	頼るところは自主防災組織。		B					自主防災組織
芳井	46	年に一回は防災訓練をする。すれば一人100円助成するとか。		B					自主防災組織
芳井	47	自主防災組織を近所の人で作る。		B					自主防災組織
芳井	48	自主防災組織を作るために必要なことを指導する。		B					自主防災組織
芳井	49	簡単な防災訓練から始めたらどうか。年一回程度。		B					自主防災組織
芳井	50	自主防災組織は自主でなく行政で半強制的にすべきでないといけない。		B					自主防災組織
芳井	51	自主防災のマニュアルはあるのか。		B					自主防災組織
芳井	52	市の防災訓練より地区単位、自治会単位の小単位でないと実が上がらない。		B					自主防災組織
芳井	53	市内に自主防災組織は何地区あるか。機能しているのか。報告をお願いします。		B					自主防災組織
芳井	54	現状で想定できうる限りの行政政策の策定の基礎となる各家庭別の、家族構成、体調、病状、緊急連絡先は、民生委員、警察等と連携し、個人情報保護の原則のもとに、市行政が主体となり、各自治会の行動連絡組織を作成する必要がある。		B					自主防災組織・行政と自治会の連携
芳井	55	自主防災の補助金の上限が50万円で2割負担、しかも1回要求したら3年間できない。10万円程度は負担なしで3年間の期限なしで。		B					自主防災組織・補助金
芳井	56	市の補助金のあり方。少し使っても3年間出ない。		B					自主防災組織・補助金
芳井	57	避難所に対しての住民の安否確認について自治会？		A					住民の安否確認
芳井	58	消防団に最低チェーンソーぐらいは配布すべき。(共和)		A					消防団
芳井	59	消防団を利用して、より細かい単位の地区で避難指示を出していく組織づくりを行ってほしい。		A					消防団
芳井	60	消防が老人を避難させてくれた。		A					消防団

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	61	個人情報で障がい者名簿等、カギをつけていることが？		A					情報管理
芳井	62	避難指示(23:38)の遅れ。避難しない住民への対策。		A					避難対策
芳井	64	炊き出し費用はでないか。		B					被災者援助
芳井	65	石灰はなぜ1袋なのか。		B					被災者援助
芳井	66	石灰をもらうのに自治会長印がいるのはなぜ。		B					被災者援助
芳井	67	芳井町は65歳以上の一人暮らしが何人いるのか。		B					避難援助
芳井	68	弱者の避難の仕方は。		B					避難援助
芳井	69	緊急時避難場所の連絡で芳井生涯学習センターと連絡を聞いて高齢の人は避難できない。		B					避難援助
芳井	70	一人暮らしの避難で指示が出ているのに避難場所に行かないという者をどうするか。		B					避難援助
芳井	71	年寄りで人の手がなければ避難できぬ。		B					避難援助
芳井	72	どういう災害のとき、どこへ避難すればよいのか。		A					防災
芳井	73	天神山池などだれが危険であると確認しているのか。そういうシステムはあるのか。		B	○				防災
芳井	74	危険個所を確認するシステムを作る必要があるのでは。		A	○				防災
芳井	75	井原へ行く道がふさがれると芳井地区は孤立する。		A	○				防災
芳井	76	どこに避難すればいいのかわからないという方がいます。安全マップを作成していても全く活用されていない。学習センター、JA、芳井体育館以外にコミュニティーハウス、学校も避難場所になっているが、地区民に伝わりきれていない。		A					防災
芳井	77	防災マップの見直し。		A					防災
芳井	78	土砂災害(土砂崩れ)が起きやすい地区、警戒地区を各自治会にわかるようにしてほしい。		B					防災
芳井	79	各地区の河川の水位によって避難指示を検討してよいのではないか。		B					防災
芳井	80	避難体制はどうなっているのか。		B					防災
芳井	81	勧告が出てから避難所はどういう順で開いているのか。		B					防災

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	82	台風(秋)までに川、山で二次災害が起きる心配がある。		A	○				防災
芳井	83	職員の防災訓練をしてくれ、今回をふまえて！		A					防災
芳井	84	これからの豪雨災害の対策・計画などの方向性を教えてほしい。決壊時、常設の排水ポンプの設置など。		B	○				防災
芳井	85	防災減災対応含め井原市の危機管理体制が甘いのではないかと？		A					防災
芳井	86	異常事態発生時の、各耕地自治会レベルの状況判断の、具体的、基礎的数字の設定～20mm/時、80mmの累計降雨量時、の避難場所、(大正池マップでは、芳井体育館と西吉井コミュニティハウスは未記入で、また20～50ミリ未満の浸水深にある。しかし、7日20時頃の市担当の指示は、芳井体育館への指示を出している。然も「不安なら、避難してください。また、何かあったら連絡ください。」…要するに、各自で判断すること。との市の判断) 念のため、天神山池マップには、芳井体育館は記載されている。50cm未満の浸水の芳井中学校は天神山マップには未記入であるのに、大正池マップには記入されている。…マップ作製会社に丸投げで、市の責任部署のチェックミスでは、今回の洪水では、幸いにも被害は軽微であったが、今後の対応は？		B					防災
芳井	87	水害対策の初期対応として、ため池決壊対応の、専門部署を設定し、その責任者が、避難指示、被災状況確認等の判断、行動が可能な組織を作成する必要がある。～市民が、自治会役員の緊急事項の相談をした時に指示できる～	○	A	○				防災
芳井	88	障がい者体の不自由な人への対応が甘い？ 厳しい気がします。病院・市役所の対応が不十分な気がします。		B					防災・医療
芳井	89	水害時に地震から池の決壊も含めて、 ・被害時、地元の土木関係の会社、運送会社～運送物流開通のために～と事前に一定の機材の借り上げ契約を締結しておく。 ・各家庭に、人数に伴い、事前準備の品目リストを配布し、定期的にチェックしておく。(上記の避難所の保管品のほかに、サランラップをたくさん、また、枕元に非常持ち出し袋と、履物長靴、手袋、タオル、ぼうし等の常設…) 過去の、地震、台風、水害などの経験者から、実務に役立つ情報の収集が大切。		A					防災・防災意識
芳井	91	普段から危ないところを確認しておく。		A					防災意識
芳井	92	行政は自然災害には無力。自力で対策を考えておくべき。		A					防災意識
芳井	93	早めに逃げる意識づくり。		A					防災意識

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	94	行政の方の声も聴きなさい。		A					防災意識
芳井	95	防災キャンプの実施。→小学生。	○	B					防災意識
芳井	98	芳井体育館使用なら使用代、電気代をいただきたいと職員が言った。閉めた後。	○	A					行政
芳井	99	市長・市議会の皆さん、市内全体を見て回ってください。実際に目で見て被災者の声を聴いて市民が何を求めているのか感じてほしいです。	○	B	○				市長・市議会

第8回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 美星 地区

テーマ『 住みたい、来てみたい美星町づくり

』

開催日： 平成30年8月1日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
美星	23	若い人に地域活動に参加してもらおう。		A					まちづくり
美星	24	移住した人にも近所付き合いに最小限参加してもらおう。		A					まちづくり
美星	48	保育所の定員増をしてほしい。		A					子育て支援